

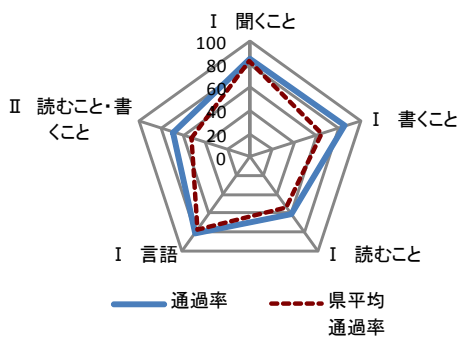
# 指導方法等の改善計画について〔国語科〕

「基礎・基本」定着状況調査は、平成29年度を最後に、教科についての調査は行われていません。

## 「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 77.7%, 県 68.0%)

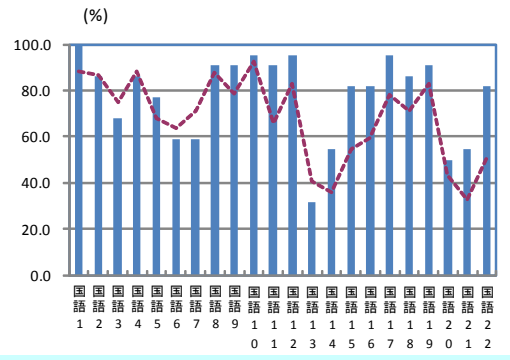
領域別平均通過率

領域別平均通過率(国語)



設問ごとの平均通過率

設問ごとの平均通過率(国語)



## 本年度の結果について

○全体的な傾向について  
 タイプⅠは79.5%、タイプⅡは69.3%の通過率となっている。県平均と比べると、基礎的・基本的な内容の理解、学習した知識・技能を活用することについて概ね定着している。タイプⅠの「書くこと」(86.4%)については通過率が高い。一方で、タイプⅠの「読むこと」(60.6%)、タイプⅡ(69.3%)と通過率が低い。

○昨年度の課題への取組の成果  
 昨年度は、タイプⅠ「読むこと」(41.7%)とタイプⅡ(47.2%)において、課題が見られた。説明文や意見文において、キーワードとなる語を見付けさせたり、接続詞に着目し文章を読ませたりする取組を行った。その結果、通過率が向上してきた。

## 重点課題

【課題1】  
 タイプⅠ「読むこと」において、「叙述を基にした想像(情景)」(国語13)に課題がある。場面や情景の移り変わりとともに変化する登場人物の気持ちについて、叙述を関連付けて読むことができていない。(通過率31.8%)

【課題2】  
 タイプⅠ「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」において、「辞書の利用」(国語7)に課題がある。辞書を利用し、文脈に応じて語句の意味を調べることができていない。(通過率50%)

## 重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

【課題1】  
 文章に書かれている話題、理由や根拠となっている内容、構成の仕方や叙述などに注意して読み取る指導をしていく。また、登場人物の相関関係を整理し、そこから人物像などを捉えさせるとともに、そこから心情に迫っていけるように丁寧に指導していきたい。

【課題2】  
 辞書を利用して調べる習慣を付けさせるため、一人一冊辞書を常に手元に置いておかせる。そして、他教科等や日常生活の中で、分からない語句などを調べさせるなど活用することで、辞書の使い方に慣れさせるとともに、語彙力を豊かにしていく。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			5年 小テスト	H29「基礎・基本」 5年		H29「基礎・基本」 4年	H29「全国学力」 5年
目標値			80%	80%		75%	80%
実施後数値							

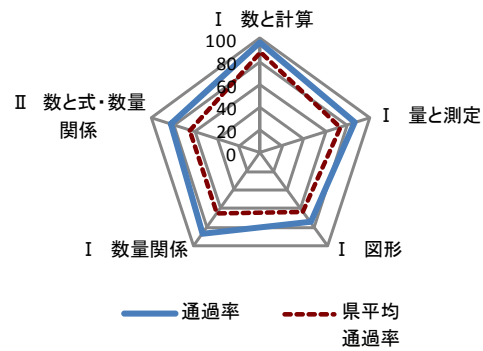
  

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			5年 小テスト	H29「基礎・基本」 5年		H29「基礎・基本」 4年	H29「全国学力」 5年
目標値			80%	80%		75%	80%
実施後数値							

## 「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校86.8%, 県74.3%)

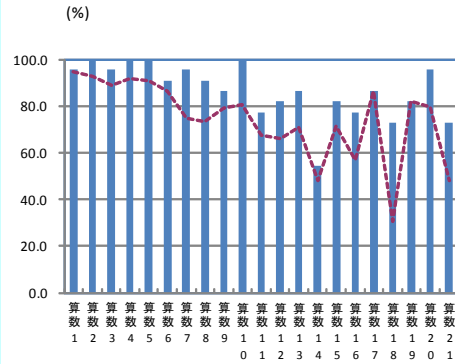
領域別平均通過率

領域別平均通過率(算数)



設問ごとの平均通過率

設問ごとの平均通過率(算数)



## 本年度の結果について

○全体的な傾向について

タイプⅠは88.4%, タイプⅡは81.8%の通過率となっている。県平均と比べると、基礎的・基本的な内容の理解, 学習した知識・技能を活用することについて概ね定着している。タイプⅠの「数と計算」(96.1%), タイプⅡ(81.8%)については通過率が高い。一方で, タイプⅠ「図形」(74.2%)については, 通過率が低い。

○昨年度の課題への取組の成果

昨年度はタイプⅡ(「折れ線グラフと棒グラフの関連付け」)において通過率(50%)が低かったが, 算数科や社会科等で, グラフを読み取り自分の考えを表す活動を仕組むことで, 通過率(72.7%)が向上した。

## 重点課題

### 【課題1】

タイプⅠ「図形」において, 「平行四辺形の判断」(算数14)に課題がある。平行四辺形の作図に用いられている図形の約束や性質の理解が不十分であった。(通過率54.5%)

### 【課題2】

タイプⅠ「量と測定」において「複合図形の面積」(算数11)に課題がある。複合図形の面積を求めるために必要な辺の長さを求める式を立てることができなかった。(通過率77.3%)

## 重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

### 【課題1】

図形の定義やその性質について, 説明する学習を行う。また, 作図を行う際には, 操作とその意味を考えさせることで, 図形の約束や性質の何を利用しているのかを理解させる。

### 【課題2】

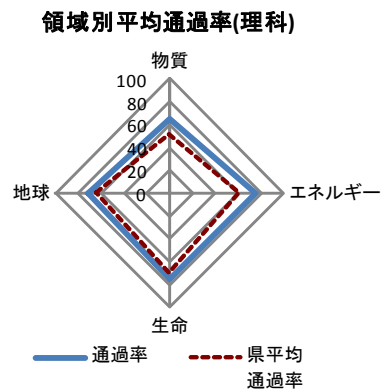
求めようとする面積の図に印をしたり, 具体物を用いて示したりすることで, 求積に必要な辺や長さを見つけ出すようにさせる。また, 考えたことを説明させる活動を取り入れることで, 理解の定着を図っていく。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			5年 小テスト	H29「基礎・基本」		H29「基礎・基本」	H29「全国学力」
目標値			80%	80%		75%	80%
実施後数値							

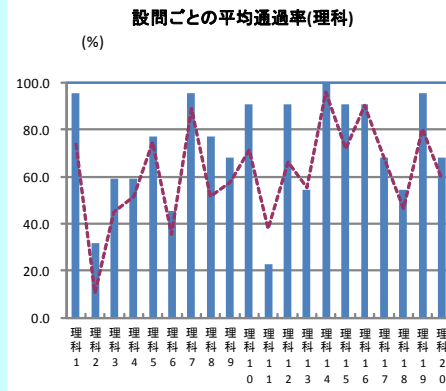
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			5年 小テスト	H29「基礎・基本」		H29「基礎・基本」	H29「全国学力」
目標値			80%	80%		75%	80%
実施後数値							

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校71.8%, 県61.7%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



本年度の結果について

○全体的な傾向について  
 タイプⅠは76.9%, タイプⅡは65.7%の通過率となっている。この結果から、基礎的・基本的な学習内容は、概ね定着していると考えられる。「物質」の領域は、64.5%、「エネルギー」の領域は、75.5%、「生命」の領域は、75%、「地球」の領域は、71.6%であった。「物質」の領域の通過率が他の領域と比べて低い。

○昨年度の課題への取組の成果と課題  
 昨年度は、「並列つなぎの回路のつなぎ方について理解すること」の通過率は、33.3%であった。「直列つなぎ」と「並列つなぎ」の実験を丁寧に行うとともに、「直列つなぎ」「並列つなぎ」という言葉や電気用図記号(回路図記号)を使って考察したり、説明したりできるようにすることで、通過率が77.3%になった。

重点課題

【課題1】  
 タイプ1「生命」において、「虫眼鏡の正しい使い方を身に付けている。」(理科11)の通過率が、22.7%であった。観察・実験の技能に課題があった。

【課題2】  
 タイプⅡ「物質」(理科2)において、「適切な検証方法の選択」の通過率は、31.8%であった。空気でっぽうの前玉が飛ぶ理由を検証する実験道具を選択することの科学的な思考・表現に課題があった。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

【課題1】  
 「昆虫と植物」「身近な自然の観察」の単元において、観察する対象物が動かせる場合と動かせない場合において、虫眼鏡の使い方を正しく理解し、実際に虫眼鏡を使用する機会を増やすことで、虫眼鏡の正しい使い方を身に付ける。

【課題2】  
 「空気と水の性質」の単元で、空気と水の性質の違いを力を加えたときに手ごたえなどの体感を基にしながら比較することができるようにする。また、力を加える前後の空気の体積変化について説明するために、図や絵を用いて表現できるようにする。

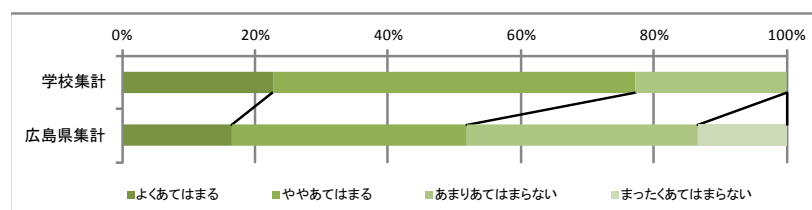
【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			5年 小テスト	H29「基礎・基本」		H29「基礎・基本」	H28「基礎・基本」
目標値			80%	80%		75%	80%
実施後数値							

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			5年 小テスト	H29「基礎・基本」		H29「基礎・基本」	H28「基礎・基本」
目標値			80%	80%		75%	80%
実施後数値							

## 質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：児童質問紙調査）

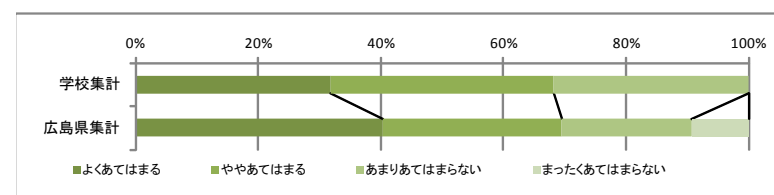
### （１）生活・学習



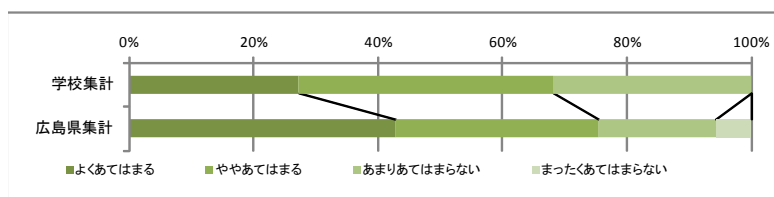
児童の回答についての課題（現状値）	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
「授業では、課題を解決するために、進んで資料を集めたり取材をしたりしています。」(33.3%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習場面を身近な問題に関連付けることで、主体的に調べたいくなるような課題を設定する。</li> <li>・情報収集の過程が課題を解決するために重要であったかを振り返らせることでその意義を感じさせる。</li> </ul>	5	80%	アンケート調査	12月		

### （２）教科

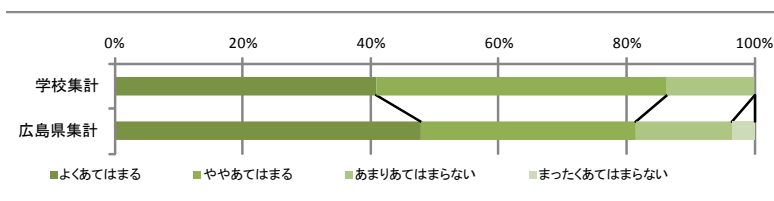
国語の授業では、分からない言葉や漢字は、辞書を使って調べています。



算数の授業では、とき方や考え方を絵や図などに表して考えています。



理科の授業では、観察や実験を行うときは、その目的は何かを意識しています。



	児童の回答についての課題（現状値）	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	「国語の授業では、分からない言葉や漢字は、辞書を使って調べています。」(68.2%)	・辞書を一人一冊机に置いておき、分からない言葉や漢字があればすぐに調べる習慣をつける。	5	80%	アンケート調査	12月		
算数	算数の授業では、とき方や考え方を絵や図などに表して考えています。(68.2%)	・問題文から絵や図を描き、そこから立式したり答えを求めたりする活動を多く取り入れる。	5	80%	アンケート調査	12月		
理科	理科の授業では、観察や実験を行うときは、その目的は何かを意識しています。(86.4%)	・「めあて」をはっきりさせるとともに、「予想」を立て、見通しをもって観察・実験に取り組ませる。	5	90%	アンケート調査	12月		